



ほけんだより7月

社会福祉法人 誠和会 ひまわり保育園
R3.7月号 看護師 上東

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや気温が急激に上昇した日には特に注意が必要です。喉が渇いていなくてもこまめに水分補給をするようにしてください。また、服装の調節やクーラーを上手く活用しながら厳しい暑さを乗り越えましょう。



6月感染症発生状況

- 溶連菌感染症 7名
- 突発性発疹 1名
- アデノウイルス 1名



暑い日が続き、蚊が出始め、虫刺されが増えています。しかし、虫よけパッチやムヒパッチはかぶれの原因や誤飲・窒息の危険があるため、使用しての登園はご遠慮下さい。かゆみや腫れは冷やすと緩和することができます。また、とびひ防止のため爪は短く切るようにしましょう。腫れて浸出液が出る場合は必ず保護してください。※かゆみが強く腫れが続く場合は皮膚科を受診しましょう。

歯科検診と尿検査を実施しました。虫歯や異常があった場合には、受診をしていただき、結果は必ず担任にお知らせください。



日射病 熱射病に 注意

外で強い日ざしにさらされて起こるのが日射病、蒸し暑い所に長時間いて起こるのが熱射病。総称して熱中症といえます。

予防のポイント

炎天下であそばない
日ざしが強いのは、午前10時ごろ～午後2時ごろ。この時間帯の外あそびは30分ほどで切り上げて。

ベビーカーは短時間で
ベビーカーは、アスファルトの照り返しで熱がこもります。長時間の移動は避けましょう。

外と家との温度差に注意
涼しい室内から急に気温の高い外に出ると、体力が奪われて危険です。

子どもを一人にしない
子どもを車や部屋に一人で残さないで。クーラーをつけていても危険です。

つばの広い帽子をかぶる
頭だけでなく、後頭部や首も、日光から守りましょう。

こまめな水分補給
少量の水分を30分を目安に、こまめに飲ませます。

プールで感染しやすい病気

咽頭結膜熱（プール熱）

プールを介した感染率が高いことからプール熱と呼ばれています。高熱、喉の腫れ、結膜炎を伴い、かぜに似た症状が出ます。

流行性角結膜炎（はやり目）

接触感染が主で、充血、目やに、異物感発熱を伴うこともあります。プールの水で濡れたタオルや水着などが感染媒体になります。たかが目やにと思わず、はやく受診するようにしましょう。

※どちらの病気も出席停止扱いになり、「登園証明書」が必要になります。

プール活動について

6月28日にプール開きがありました。楽しく安全にあそべるようにご家庭で、以下のことをお願いします。

- ①毎日お風呂に入り、洗髪する
- ②つめは短く切る
- ③朝ごはんをしっかり食べる
- ④きちんと睡眠をとる

- ・外気温と水温が合わせて65℃以上になった場合
 - ・外気温が35℃を超える場合（熱中症指数31℃以上）
- 熱中症対策のため、上記の場合にはプール活動を行いません。コロナ渦の状況によっても中止になる場合もありますのでご了承ください。